



2017年10月31日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 経営企画部長 竹下 功
(TEL 0584-93-0110)

中期経営計画「OCEAN-20」に関するお知らせ

当社は、2020年度を最終年度とする中期経営計画「OCEAN-20」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

<記>

1. 中期経営計画策定の概要

創業80周年を機に、長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」を策定し、その実現に向けた具体的アクションプランである中期経営計画「OCEAN-18」を推進してきました。

2017年度で「OCEAN-18」の目標達成の目処をつけ、ローリングプランとして新中期経営計画「OCEAN-20」を策定しました。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

2. 2016年度実績と2020年度目標

	2016年度実績	2020年度目標
連結売上高	1,036億円	1,400億円
連結営業利益率	8.4%	8%台
ROA(営業利益)	6.4%	7%台

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績の結果は記載の予想と大幅に異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

以上

中期経営計画「OCEAN-20」

創業80周年を機に、長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定し、また、創業85周年の際に、グループで共有していく普遍的な価値観として「PACIFIC VALUES」を制定し、「夢と挑戦」「信頼と感謝」を心構えとし、一丸となって事業に邁進してきました。

自動車業界は、環境・低燃費・軽量化・安全性などの克服や、EV・自動運転技術・コネクテッドの開発、AI・IoTの活用などが課題となっております。

2017年度で「OCEAN-18」の目標達成の目処をつけ、ローリングプランとして新中期経営計画「OCEAN-20」を策定しました。「OCEAN-20」では、引き続き「トップクラスの GLOCAL な部品メーカー」をめざし、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSR と環境保全」をキーワードに、投資の成果を刈り取りつつ、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築します。また、次世代モビリティを見据えた新技術・新工法の開発、海外拠点の拡充・自立化の推進、環境・安全・品質・生産性の向上、そして人財育成とともに、競争力のある原価を実現してまいります。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取り組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

トップクラスのGLOCALな部品メーカーをめざす



TPS…Toyota Production System CSR…Corporate Social Responsibility

2020年度 目標
連結売上高 : 1,400億円
連結営業利益率 : 8%台
ROA(営業利益) : 7%台

